

はしきがき

客年九月十六日突發したる本社労働争議も最早百八十日餘を經過し、一時は解決の曙光認められたりやの感がありました。最近争議團側殊に日本労働總同盟の幹部諸氏はしきりに策動を試みつゝあり、之れがために形勢又々混沌たるに至り、争議の源因經過及現下の實相等に關し動もすれば多少の誤解等を生せん事を虞れますので、この機會に際し、之等の點を明にして公正なる批判を仰ぎたいと存じ、この一小稿を綴ることと致しました。

今回の争議は本社としては、まづたく事情已むを得ずして應酬するに至つたのでありまして、實に經營上の死活問題でありますから舉社一致只管隱忍戒愼して精進いたし居るのであります。冀くは大方各位何卒弊社の苦衷を諒察せられ、引續き御指導と御鞭撻を賜はらんことを。一五